

令和6年度 青森県中学校教育課程研究集会 道徳



藤崎町立藤崎中学校 中山真理

令和6年度 青森県中学校教育課程研究集会 【道徳】

令和6年度 教育課程研究集会（中学校道徳科）の主題
生徒一人一人が、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるための道徳科の指導と学習評価の工夫・改善

藤崎中学校の研究主題
「つながりと思いやりのある学校風土づくり ～支持的・支援的な関わりを通して～」(2年次)

藤崎中学校の研究目標
生徒意識調査と学校風土尺度アンケートをもとに、各学年と各教科で多彩な取り組みを実践し、生徒が「学校とのつながり」意識を強くもてる学校風土をつくる。

藤崎中学校の研究仮説
各学年と各教科で「授業」と「こころの教育」、「子ども同士」「子どもと学校」の関係性に重点を置いた対策を講じ、教師団が互いの実践から学び、良さを見つけて指導を工夫することによって、つながりと思いやりのある学校風土をつくることができるだろう。

令和6年度 青森県中学校教育課程研究集会 【道徳】

藤崎中の取組

1 校内指導体制

年間指導計画の工夫

学年の先生に管理職を含めてローテーション。
年度初めに、授業者・授業する教材を決める。
学年によって「関連教科」や学年分掌に合わせたり…
得意な内容項目を選んだり…

道徳通信を利用して授業者を確認

(4-5月の予定)			
	1年	2年	3年
授業者	中山	中山	中山
教材名	関市の「おはようございます」	あいさつ	言葉おしり
授業者	中山	中山	中山
教材名	関市に選ばれて	住みよき社会に	たんなりに住む
授業者	大田	大田	大田
教材名	自分の特徴が大きい!	友達で学んだこと	職業の誇り
授業者	校長	校長	三浦
教材名	いじめに勝つのは	私のせいじゃない	ある日の午後から
授業者	相馬	相馬	成田

日	内容	担当	学年	教科
4/1	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/2	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/3	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/4	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/5	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/6	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/7	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/8	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/9	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/10	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/11	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/12	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/13	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/14	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/15	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/16	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/17	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/18	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/19	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/20	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/21	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/22	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/23	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/24	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/25	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/26	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/27	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/28	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/29	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳
4/30	内定発表・立派	藤崎中「あはれ道徳」(道徳)	道徳科	道徳

令和6年度 青森県中学校教育課程研究集会 【道徳】

藤崎中の取組

2 道徳教育推進教師として (道徳通信の発行…生徒用)



①上の段に…授業の紹介
(教材のあらすじや授業の流れ、生徒の感想)

目的
学年・学級を越えて、感想の共有をする
家庭でも話題にしてもらう

※以前は、全学級・全生徒の感想を校内の【道徳コーナー】に掲示
→生徒にとっては、授業のワークシートと掲示用の用紙、2種類
に書かなくてはならず、負担が大きい(時間もかかる)

②中の段に…次月の授業の予定

③下の段に…「保護者の皆様へ」



5 校舎のつくりを生かして…教師同士の授業参観

オープンな校舎のつくり



廊下からいつでも教師同士で授業参観ができる。



実践 藤中の道徳教育指導の方針1つ

「他の人とよりよく関わろうとする意欲・態度を育てる」に関して

「言葉おしみ」東京書籍 新しい道徳3

「すみません」に対して「どういたしまして」、並んでいるときの「お先に」「お待たせしました」など、言葉を惜しまないことでいい雰囲気になった。逆に呼ばれても返事をしなかったり、電車で無言で席を譲ろうとしたりして気まずい感じになった。

1 導入

T: 「生徒総会の資料読み合わせのとき、このクラスから図書委員会に要望があったよね。」

S: 「本を借りたり返したりするときに無言だとちょっと。何か言ってほしい……って？」

T: 「そうそう。Kさんが言ってくれたこと。今日はそういうお話を勉強しよう。」

特別なものを準備できないときは、日頃の生徒の発言をとりあげることも。その生徒が〈主役〉になれるし、身近なこととして考えることもできる。



実践 「言葉おしみ」東京書籍 新しい道徳3

2 展開①

T: 「実際に、何も言わないバージョンと、一言添えるバージョンの両方をやってみよう。」

T: 「言われた人、どんな感じだった？」

S: 「ほっこりする。」「いい人だなってうれくなる。」

T: 「周りで見えた人はどう感じた？」

S: 「いい雰囲気だなと思った。」

T: 「言った人は？」

S: 「自分がいい人になった感じがした。」

「特に何も考えて言ったわけでは……。無心かな。」

T: 「無心でも相手にはいい感じで伝わるんだね。」



実践 「言葉おしみ」東京書籍 新しい道徳3

2 展開②

ここで、「トイレに並んで、『お待たせしました』って言われると、なんか焦っているように見えたのかもしれないって感じて、嫌じゃない？」とのつぶやきあり。

T: 「『お先に』『お待たせしました』じゃない、他の言い方もあるかな？」

S: 「『どうぞ』もありじゃない？」



言った人、言われた人、周りで見ている人、それぞれに感想を聞く。
(視点を変える)



教師に聞こえるつぶやきは、「拾ってほしい!」という気持ちの表れ?

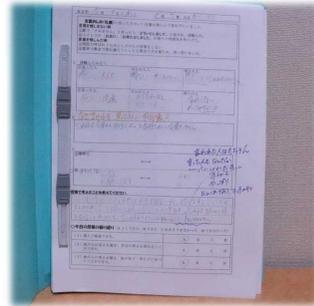
実践 「言葉おしめ」東京書籍 新しい道徳3

3 振り返り①

「感想」ではなく、「授業で考えたことを教えてください」にしています。

振り返りの項目は全校共通にしています。学級担任が評価するときのためです。

氏名	期	日	組	姓	名	氏名
<p>言葉おしめ(礼儀)を言った方がいい言葉を選び、書き出していること。 礼儀正しさを褒め、言葉おしめを言った方がいい言葉を選び、書き出していること。 礼儀正しさを褒め、言葉おしめを言った方がいい言葉を選び、書き出していること。 礼儀正しさを褒め、言葉おしめを言った方がいい言葉を選び、書き出していること。</p>						
授業した人	授業された人	観察の人				
授業した人	授業された人	観察の人				
<p>授業で考えたことを書き出してください。</p>						
<p>今日の授業の振り返り(はやくできた、よかった、かあざりできなかった、ひやあんなった)</p>						
(1) 進んで授業できた。	A	B	C	D		
(2) 教の人の考えを聞き、自分の考えを述べることができた。	A	B	C	D		
(3) 教の人の考えを聞き、他の見方・考え方に気づくことができた。	A	B	C	D		



実践 「言葉おしめ」東京書籍 新しい道徳3

3 振り返り② 生徒の「授業で考えたこと」

- ・深く考えて言ったことでもないのに、言っただけで自分が礼儀正しいいい人になれたような気がした。「自分、いいじゃん！」って思った。
- ・自分のせいでも他の人が詰まっているとき、「大丈夫だよ」「ゆっくりやりな」と言ってもらえると本当に安心できた。
- ・言葉は惜しむより惜しまない方が初めましての人でもコミュニケーションがとれるし、会話も広がる可能性があるんだと思う。



ご静聴ありがとうございました。



中体連決起集会
(於 中庭)
全校生徒でテーマソング
を歌って士気を高めました。

令和6年度

青森県中学校教育課程研究集会 道徳 【指導助言】

中南教育事務所
指導主事 宮崎 穰路

スライド3 校内指導体制について

1 校内指導体制

年間指導計画の工夫

学年の先生に管理職を含めてローテーション、
年度初めに、授業者・授業する教材を決める。
学年によって「関連教科」や学年分掌に合わせたり…
得意な内容項目を選んだり…

年間指導計画の作成の創意工夫。道徳通信でも全校に周知している。

(2) 年間指導計画の内容

年間指導計画は、各学校において道徳科の授業を計画的、発展的に行うための指針となるものであり、各学校が創意工夫をして作成されるものであるが、上記の意義に基づいて、特に次の内容を明記しておく必要がある。

～中略～

(7) その他

例えば、校長や教頭などの参加、他の教師の協力的な指導の計画、保護者や地域の人々の参加・協力の計画、複数の時間で取り上げる内容項目の場合は各時間の相互の指導の関連などの構想、年間指導計画の改善に関わる事項を記述する備考欄などを示すことが考えられる。

解説P71・72 年間指導計画作成上の創意工夫と留意点

道徳教育推進教師の役割

- ・ 道徳教育の指導計画の作成に関すること
- ・ 全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること
- ・ 道徳科の充実と指導体制に関すること
- ・ 道徳用教材の整備・充実・活用に関すること
- ・ 道徳教育の情報提供や情報交換に関すること
- ・ 道徳科の授業の公開など家庭や地域社会との連携に関すること
- ・ 道徳教育の研修の充実に関すること
- ・ 道徳教育における評価に関すること など

中学校学習指導要領解説総編P131

さらに、年に数回、教師が交代で学年の全学級を回って道徳の授業を行うといった取組も効果的である。このことは、教師が自分の専門教科など、得意分野に引きつけて道徳科の授業を展開することができる。また、何度も同じ教材で授業を行うことにより指導力の向上につながるという指導面からの利点とともに、学級担任が自分の学級の授業を参観することが可能となり、普段の授業とは違う角度から生徒の新たな一面を発見することができるなど、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子をより多面的・多角的に把握することができるといった評価の改善の観点からも有効であると考えられる。

解説P114 道徳科における評価

指導する先生の「教科」や「分掌」、「得意な内容項目」などと関連させて計画を立てることで、効果的な授業が期待できる。

また、校長や教頭などの授業参加や他の教師との協力的な指導、保護者や地域の人々、各分野の専門家等の授業参加などに際して、学級担任以外からの生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子について意見や所感を得るなどして、学級担任が生徒を多面的・多角的に評価したり、教師自身の評価に関わる力量を高めたりすることも大切である。なお、先に述べた、教師が交代で学年の全学級を回って道徳の授業を行うといった取組は、生徒の変容を複数の目で見取り、評価に対して共通認識をもつ機会となるものであり、評価を組織的に進めるための一つの方法としても効果的であると考えられる。

このような、組織的・計画的な取組の蓄積と定着が、道徳科の評価の妥当性、信頼性等の担保につながる。また、こうしたことが、教師が道徳科の評価に対して自信をもって取り組み、負担感を軽減することにもつながるものと考えられる。

解説P115 道徳科における評価

生徒の変容の様子を複数の目で見取るなど、評価を組織的に進められる。

スライド4 道徳教育推進教師について

2 道徳教育推進教師として (道徳通信の発行…生徒用)



①上の段に…授業の紹介
 (教材のあらすじや授業の流れ、生徒の感想)

目的
 学年・学級を越えて、感想の共有をする
 家庭でも話題にしよう

※以前は、全学級・全生徒の感想を校内の【道徳コーナー】生徒にとっては、授業のワークシートと掲示用に書かなくてはならず、負担が大きかった(時間もかかる)

②中の段に…次月の授業の予定

③下の段に…「保護者の皆様へ」



毎月の道徳通信の発行により、保護者に対しても情報提供をしている。

各学年の感想も共有することで、学年を越えた多様な考え方に触れることができる。

先生方にとっても、他の先生方の実践を知ることができるきっかけとなる。また、自身が授業を実施する際の参考にすることができる。

令和6年度 青森県中学校教育課程研究会 【道徳】

藤崎中の取組

3 学習過程や指導方法の工夫…道徳ファイル



3年間、同じファイルを使います

道徳ファイルにこれまでの資料が蓄積されている。

評価の資料として活用することができる。

解説P110 道徳科における評価の意義

生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握することができる工夫

道徳ファイルにこれまでの資料が蓄積されている。

評価の資料として活用することができる。

学習指導要領第3章の第3の4において、「生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。」と示している。

令和6年度 青森県中学校教育課程研究会 【道徳】

藤崎中の取組

4 評価

ちなみにワークシートの形は先生方にお任せですが、

- ・日にち
- ・教材名
- ・「今日の授業の振り返り」

必ず入れてもらっています。

振り返りの項目は全校共通にしています。学級担任が評価するときのためです。

学校として、組織的・計画的に取り組み全教師で共通理解する。

学級担任以外からの生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子について意見や所感を得るなどして、学級担任が生徒を多面的・多角的に評価することにつながる。

解説P110 道徳科における評価の意義

スライド6 評価について

スライド8 ワークシートについて



実践 藤中の道徳教育指導の方針1つ
「他の人よりよく関わろうとする意欲・態度を育てる」に関して
「言葉おしめ」東京書籍 新しい道徳3

1 導入

T: 「生徒総会の資料読み合わせのとき、このクラスから図書委員会に要望があったよね。」
S: 「本を借りたり返したりするときに無言だとちょっと。何か言ってほしい……って?」
T: 「そうそう。Kさんが言ってくれたこと。今日はそういうお話を勉強しよう。」

特別なものを準備できないときは、日頃の生徒の発言をとりあげることも。その生徒が〈主役〉になれるし、身近なこととして考えることもできる。

学校の教育活動全体で行う道徳教育との関連が図られている。

授業の導入で体験（ここでは生徒総会での一場面）を想起させてから、授業を展開している。

(3) 特別活動等の体験活動の活用

道徳科において実践活動や体験活動を生かす方法は多様に考えられ、各学校で生徒の発達の段階等を考慮して年間指導計画に位置付け、実施できるようにすることが大切である。例えば、ある体験活動の中で感じたことや考えたことを道徳科の話し合いに生かすことで、生徒の関心を高め、道徳的实践を主体的に行う意欲と態度を育む方法などが考えられる。特に特別活動において、道徳的価値を意図した実践活動や体験活動が計画的に行われている場合は、そこでの生徒の体験を基に道徳科において考えを深めることが有効である。例えば、体育祭や修学旅行などの学校行事において、生徒一人一人が学校や学級の一員として活動した経験を基に、自分の役割と責任について自覚を深めた体験を道徳科の授業の導入や展開で振り返ることができる。

解説P98 問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導

スライド10 実践について

令和6年度 青森県中学校教育課程研究会 【道徳】

実践 「言葉おしめ」東京書籍 新しい道徳3

2 展開①

T: 「実際に、何も言わないバージョンと、一言添えるバージョンの両方をやってみよう。」
T: 「言われた人、どんな感じだった?」
S: 「ほっこりする。」「いい人だなってうれしくなる。」
T: 「周りで見てた人はどう感じた?」
S: 「いい雰囲気だなと思った。」
T: 「言った人は?」
S: 「自分がいい人になった感じがした。」
「特に何も考えて言ったわけでは……。無心かな。」
T: 「無心でも相手にはいい感じで伝わるんだね。」

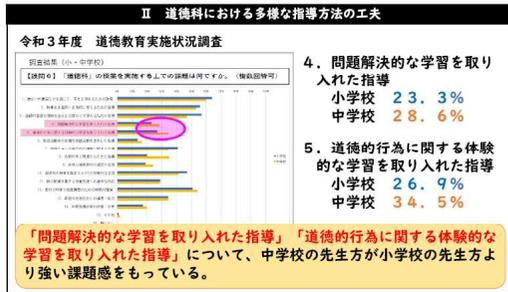
実際に生徒に演じてもらうことで、その場面での気持ちを考えさせている。

活動して終わりではなく、演じられた言葉の背景にある気持ちを考えたり、見ていた生徒にも聞くなどしている。

言った人、言われた人、周りで見ている人、それぞれに感想を聞く。(視点を変える)

解説P98 問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導

スライド11 実践について



II 道徳科における多様な指導方法の工夫

【道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた道徳科の指導事例】
 (沖縄県の提出資料から)

教師の悩み(中学校での実践が少ない理由) ※検証校での教師アンケートより

- 演技するということに心理的抵抗を感じることが多い。
- 活用の方法を知らない(演技させた後の展開)。
- 少しは取り組んでみたが、うまくいかなかったため、そのあとやっていない。
- 学級が騒がしくなりそう、違う方向に行きそうで自信がない。

助言
 ・学級の支持的風土づくりが重要
 ・演技する前にねらいを十分に伝える 等

助言に基づいた指導の成果

- 消極的だった生徒たちが、興味関心をもち、授業に参加することができた。
- 演じたり見たりすることで、自己を見つめ、自己との関わりで考えを深める振り返りを引き出すことができた。

令和6年度 第1回義務教育教科等担当指導主事研究協議会 分科会資料より

才 動作化、役割演技など表現活動の工夫

生徒が表現する活動の方法としては、発表したり書いたりすることのほかに、生徒に特定の役割を与えて即興的に演技する役割演技の工夫、動きやせりふのまねをして理解を深める動作化の工夫、音楽、所作、その場に応じた身のこなし、表情などで自分の考えを表現する工夫などがよく試みられる。

～中略～

指導に当たっては、生徒が伸び伸びと表現できるよう配慮するとともに、日常生活の指導の中で表現活動に慣れさせることや自由に表現できる学級の雰囲気をつくるのが大切である。また、これらの活動が単に興味本位に流れたりしないで道徳科のねらいを達成することができるようにするため、活動を取り入れる目的やねらい達成の見通しをもち、場面設定をしっかりとしておくことなど事前の十分な準備と配慮が大切である。

解説P84 学習指導の多様な展開

実践 「言葉おしめ」東京書籍 新しい道徳3

3 振り返り①

「感想」ではなく、「授業で考えたことを教えてください」にしています。

振り返りの項目は全校共通にしています。学級担任が評価するときのためです。

「授業で考えたことを教えてください」とすることで、発表できなかった生徒たちがどんなことを考えていたのかを教師が知ることにつながっている。

評価するための生徒への配慮

これから特に配慮すべきこと

- ・授業中の発言がほとんどない生徒
- ・文章表現が得意ではない生徒
- ・表情にも表れにくい生徒
- ・発達障がいのある生徒
- ・海外から帰国した生徒
- ・日本語習得に困難のある生徒



参考・引用文献

- ・中学校学習指導要領(平成29年度)解説 総則編 文部科学省
- ・中学校学習指導要領(平成29年度)解説 特別の教科 道徳編 文部科学省
- ・令和6年度 第1回義務教育教科等担当指導主事研究協議会 道徳部会資料

・授業でどのように見取っていくのかを校内で検討しておくことが必要
 ・授業者は、意図的に観察したり、指名したりして、評価できる根拠を集めることが必要